

## 到達目標に対する学生の自己評価

保健体育講座・糸岡 夕里

### 1. 保健体育科教育法Ⅳの位置づけ

「保健体育科教育法Ⅳ」の授業は、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）を取得するための科目であり、保健や体育理論といった教室における保健体育科の授業の充実に向けて学修する。3年後期に開講されており、多くの受講生にとって保健体育科教育法の総まとめとなる科目である。

「保健体育科教育法Ⅳ」の授業概要については表1に示した。なお、第1回から第8回までの前半を糸岡が、後半を日野が担当した。

なお、受講生は学校教育教員養成課程保健体育専修3回生10名およびスポーツ健康科学課程3回生17名、計27名であり、いずれもこれまでに開講されている保健体育科教育法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの単位を修得済みの学生であった。

表 1 保健体育科教育法Ⅳの授業展開

回	内容	担当	回	内容	担当
①	教育実習ふり返り	糸岡	⑨	ふり返り2・体育理論の授業づくり	日野
②	教育法Ⅳの授業概要	糸岡	⑩	体育理論の教材づくり	日野
③	保健の授業づくり	糸岡	⑪	模擬授業2 (A・B)	日野
④	実地指導講師 (附属中：養護教諭)	糸岡	⑫	ふり返り3	日野
⑤	模擬授業1 (A・B)	糸岡	⑬	模擬授業2 (C・D)	日野
⑥	模擬授業1 (C・D)	糸岡	⑭	模擬授業2 (E・F)	日野
⑦	ふり返り1 → 公開授業	糸岡	⑮	まとめ	日野
⑧	模擬授業1 (E・F)	糸岡			

#### 【保健体育科教育法Ⅳの目的】

中学校および高等学校教諭教員職員免許状（保健体育）を取得するための選択科目であり、保健体育科の保健や体育理論といった教室における授業の授業構成力や教材解釈力について学ぶ。とくに、この授業では、模擬授業の経験を通して、よい授業を実現するための学習指導のあり方について理解を深める。

#### 【保健体育科教育法Ⅳの到達目標】

- (1) 保健体育科の授業力向上に向け、自己学習課題を明確にもち、主体的に学習に取り組むことができる。
- (2) 教材研究・教材解釈の力を高め、教室で行う保健体育科の授業を効率的・効果的に実践することができる。
- (3) 模擬授業を省察し、授業のよい点、改善点を論理的に述べることができる。

### 2. 授業の工夫

#### (1) 授業づくりの観点

発問を作る際の観点として、有田和正著『教材づくりの基礎技術』より、以下の5点を指導し、模擬授業の省察レポートについては、その観点から省察するよう指導した。

- ① 具体物をネタにしての導入
- ② 意表を突く発問をネタにしての導入
- ③ 絵・図・統計資料をネタにしての導入
- ④ 構成活動やごっこ活動をネタにしての導入
- ⑤ 体験活動をネタにしての導入

#### (2) 模擬授業の具体的な改善案

上記、授業づくりの観点をふまえ、模擬授業の具体的な改善案について提案した。実際に体験した授業の改善案であることから授業づくりの観点について理解を深めることを期待した。

#### (3) 「指導内容」と「素材」から「教材」へ

「指導内容 (何を教えるのか)」を明確に把握するとともに「教材 (どう教えるのか)」を意識することにより、日常的な「素材」が「教材」へと変換できるように指導した。

#### (4) 授業時間外学習の確保

授業時間外学習を確保するために模擬授業の準備や毎回の授業におけるレポート課題を設定した。

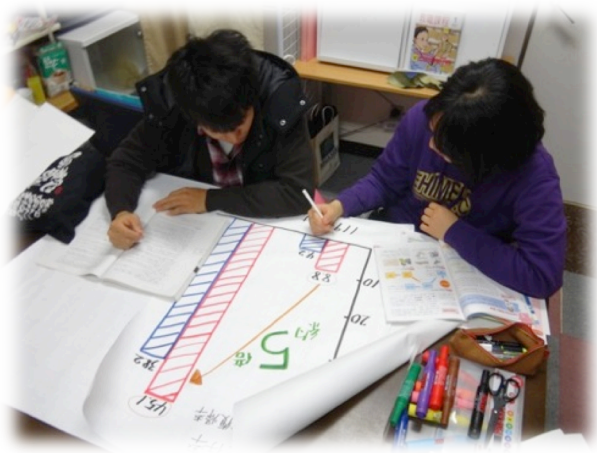


図 1 授業時間外学習の様子

#### (5) レポート課題の評価

毎回のレポート課題について3段階で評価を行い、次時の授業では評価の観点について学生に示し、評価を付したレポート課題を返却した。

またA評価（最高）のついた学生の氏名を紹介し、何がよかったのか具体例を示し参考とするよう指導した。

### 3. 学生の授業評価

本授業の到達目標について、5点満点で自己評価し、その理由について記述を求めた。各到達目標の度数分布と平均値について図1に示した。

学生の自己評価の平均値が最も高かったのは到達目標1であり5点満点中3.70であった。授業時間外学習を適正に確保したことから主体的な取り組みが実現できたと考えられた。

一方、学生の自己評価の平均値が最も低かったのが到達目標2であり5点満点中3.07であった。模擬授業後のふり返りの授業におけ

る具体的な改善案を指導したことから、教材研究や教材解釈について課題が明確になったことから、自己評価が厳しくなったと考えられた。

到達目標3については、毎回の課題レポートについて3段階評価を付して返却したことから、適正な自己評価ができたと考えられた。

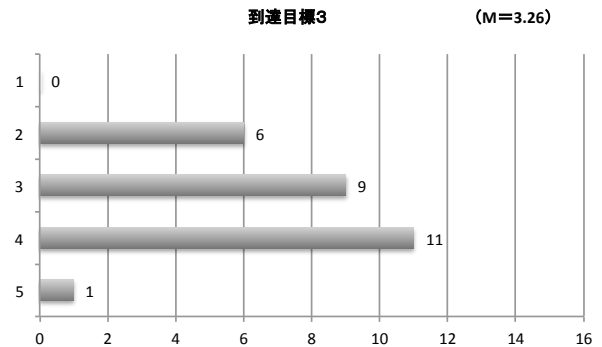
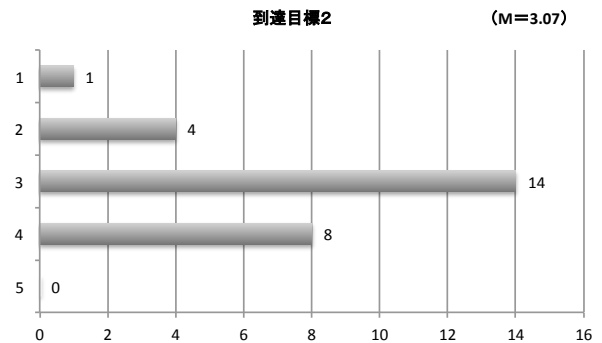
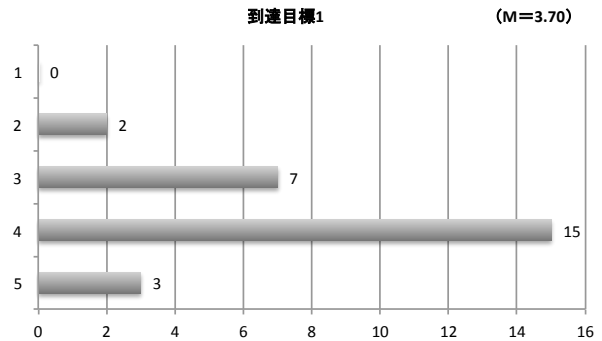


図 1 各到達目標の度数分布および平均値